

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認年月	平成	年	月
レジメン名	CDDP+5-FU(食道がん)(ホスアプレビタント)					
疾患名	食道がん	適応の備考				
適応分類	進行再発					
1コース日数	28	日間	総コース数	コース	催吐性リスク	高度
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン80mg/m ² day1、5-FU 800mg/m ² /日 day1-5						
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)						

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管1 点滴静注	側管1 フィジオ140輸液500mL	3 本 / body	4 時間	●																											
		4時間以上かけて投与																														
2	側管1 点滴静注	側管1 生食250mL	1 本 / body	30 分	●																											
		側管1 ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																											
3	側管1 点滴静注	側管1 パロセトロン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																											
		デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																											
4	主ルート 点滴静注	主ルート 生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
		主ルート シスプラチン	80 mg / m ²		●																											
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
5	側管2 点滴静注	側管2 生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
		側管2 フロセミド注 20mg	1 A / body		●																											
6	主ルート 点滴静注	主ルート 生食500mL	1 本 / body	12 時間	●	●	●	●	●																							
		主ルート 5-FU	400 mg / m ²		●	●	●	●	●																							
7	側管2 点滴静注	側管2 フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																											
8	主ルート 点滴静注	主ルート 生食500mL	1 本 / body	12 時間	●	●	●	●	●																							
		主ルート 5-FU	400 mg / m ²		●	●	●	●	●																							
9	主ルート 点滴静注	主ルート 生食50mL	1 本 / body	5 分																												
10	側管1 点滴静注	側管1 生食100mL	1 本 / body	30 分		●																										
		側管1 デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body			●																										
11	側管1 点滴静注	側管1 生食100mL	1 本 / body	30 分			●	●																								
		側管1 デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body			●	●																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- シスプラチン:希釈は生食のみ。
- シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。